

3M™ スコッチカル™ グラフィックフィルム IJ5363

定 義

3M™ スコッチカル™ グラフィックフィルム IJ5363 は各種インクジェットプリンタで作画する屋内ウィンドウサイン用途等のインクジェット作画媒体です。

特 徴

- ガラス装飾やアクリル装飾に適しています。
- 再剥離タイプの粘着剤で、剥離時に粘着剤が貼り付け基材に残留しにくくなっております。（ただしすべての貼り付け基材、環境条件について再剥離性を示すものではありません。）
- 平面および緩やかな2次曲面への施工が可能です。
- 内貼りが可能です。

製品特性

| | |
|----------|------------------------------|
| サイズ | 1270mm × 30m |
| コア | 3 インチコア (内径 77mm) |
| 材質 | ポリエステル |
| フィルム色 | 透明 |
| 剥離紙 | 片面シリコーン処理 PET ライナー |
| 厚さ (代表値) | 0.10mm (粘着剤含む) |
| 粘着剤 | 感圧型再剥離タイプ透明アクリル系粘着剤 |
| 貼り付け温度 | 10～38°C (平滑面) |
| 使用可能温度 | -30～65°C |
| 接着力(代表値) | ガラス板 約 5N/25mm (貼付後 24 時間放置) |

試験方法

フィルム厚：JIS K 7130 に準ずる。

接着力：JIS Z 0237 に準ずる。

特性における数値は、原則として温度20°C・湿度65%での試験結果を基にしています。

対応インクジェットシステム

以下対応表をご参照下さい。

- 3M パフォーマンスギャランティー インクジェットプリンタ対応表

耐候性、耐久性および推奨オーバーラミネートフィルム

日本国内の標準的な環境下で屋外に面するガラスへの内貼り施工時は、以下の耐候性を有しています。

| 推奨オーバーラミネート | 耐候性 |
|--------------|-------|
| IJ4121 (内貼り) | 約 2 年 |

耐候性の数値は弊社試験結果に基づく予想される年数であり、保証年数ではありません。

- インク自体に耐候性を有する場合に限りです。
- 施工方法や使用環境により、この値より短くなる場合があります。

ご使用に際しての注意事項

■ 印刷

- 作画品質を維持するために、ご使用プリンタの取扱説明書及び技術説明書に従って出力を行ってください。
- 環境(ほこりや潤滑スプレーの使用等)、インク条件により、スポット状の印刷抜けが発生することがあります。特に、ベタ印刷の場合、発生が目立ちます。印刷環境管理、インクの鮮度管理に充分ご配慮下さい。
- 印刷前のメディア表面には指紋、汚れ、傷がつかないようにしてください。取り扱い時には綿製の手袋等をご使用になる事をお勧めいたします。また、表面を液体等で洗浄しないでください。印刷性に大きな影響が出ます。
- 予め実際に印刷を行い、発色及び乾燥性を確認の上御使用ください。インク濃度が高く印刷後乾燥が充分でない状態で巻いた場合、印刷面が裏面に密着し、画像にダメージを与えることがあります。可能であれば 250% を濃度の上限としてデータを準備ください。

■ 加工

- 印刷後は十分な乾燥を行ってください乾燥はメディアを広げた状態で 1 日程度室温下で放置してください。長尺品の場合は、印刷面が剥離紙面に接触しないようにゆる巻きにし、風通しの良いところで乾燥を行ってください。
- 乾燥時は、溶剤蒸気に引火しないよう、発火源（モータ等電化製品含む）から離してください。さらに、溶剤蒸気が充満すると健康被害を起こす可能性が有りますので、換気を行ってください。
- オーバーラミネートフィルムを貼った場合、色相等が多少変化します。予め発色をご確認の上、印刷色を設定してください。
- 故意に強く印刷面を擦った場合、インクが剥がれることがありますのでご注意ください。

■ 施工

- 本製品はガラス基材へ水貼りを推奨しております。以下①-⑧に水貼りの施工方法を示してあります。

① 貼り付け直前の汚れ除去

ガラスに水あるいは中性洗剤溶液を噴霧し、スキージーで上から下へ洗い流し洗浄します。再度ガラスに水あるいは中性洗剤溶液を噴霧します。使用期間を想定した試験施工を一定期間*1 実施し、外観異常(浮き、剥がれ、変色等の有無)がないことを確認し判断してください。

② 剥離紙の剥離と水の噴霧

フィルムから剥離紙を剥がしながら、その粘着剤面に水あるいは中性洗剤溶液を噴霧し、剥離紙を全て剥がします。ガラスへフィルムを仮合わせし、フィルム表面に中性洗剤溶液を噴霧します。

③ 仮圧着

エッジとのスペース（フィルムの四辺とコーキングとの隙間）を確認しながら、フィルムの貼り付け位置を決め、スキージーでフィルム上辺部分を仮圧着しフィルム全体を固定します。エッジスペースとはフィルムとコーキングとの適正な隙間のことで、原則として 2~3mm 程度の幅を設けて下さい。

④ 全体圧着（一次圧着）

中央から徐々にサイドへとスキージーを動かし大まかに水を押し出します。

⑤ 余分なフィルムのエッジカット

適当な厚みのスペーサー（三角定規やプラスチック板）を窓枠に当てて、さらにカッターをスペーサーに当てがい、スペーサーとカッターを同時に滑らせる様にしてカットします。（但し、強化ガラスや金属被膜面へ施工した場合は除きます）

⑥ 全体圧着（二次圧着）

フィルム表面に再度中性洗剤溶液を噴霧します。四辺のエッジスペースが均一であることを確認しながら、スキージーでフィルムを二次圧着します。

⑦ 清掃

最後に、フィルム表面に水あるいは中性洗剤溶液を噴霧し、スキージで軽く清掃します。市販のガラスクリーニング用の幅広いスキージーを使用すると便利です。

⑧ 水分の除去

サッシ周りの水分をペーパータオル等で拭き取ります。

施工時の注意事項

- 貼り付け基材面温度が 10°C 以下の場合、十分な初期接着力が得られません。貼り付け下地が貼り付け温度範囲内であることを確認し施工してください。
- 結露し易い箇所は、十分な接着力が得られないことがあります。
- 高温下の環境などフィルムが伸びやすい環境で施工する場合は、アプリケーションテープを貼るなどして、フィルムが伸びないように注意して施工してください。
- シリコンなどフィルムが接着しにくい材料（コーキング部など）や熱線反射等特殊コーティングされたガラス面へは剥がれ等不具合の原因になりますので使用できません。また、窓用フィルムの上から施工すると、剥離時に下地を傷める恐れがあります。窓用フィルムが施工されていない面に施工してください。
- 貼り付けるフィルムから窓枠までは 5mm 程度のスペースを空け、窓枠のシーリング材またはゴム製モールディング等にフィルムがかからないようご注意ください。

■ グラフィックスのメンテナンス

- グラフィックス表面を洗浄する場合、研磨剤を含まない中性の洗浄液で水洗いしてください。
- 推奨オーバーラミネートフィルムにて表面が保護されたグラフィックスは IPA(イソプロピルアルコール)による表面清掃が可能です。但し、グラフィックス端部に IPA が残留しないように十分にふき取ってください。
- 土砂等の汚れがついたまま、表面を拭くとオーバーラミネートフィルムに傷が付くことがあります。洗浄は最初表面に付着した粒子分を水洗等で取り去り、その後、表面を軽く拭き取る程度にしてください。
- 一度掲示したものを剥がし、再度掲示する事はおすすめいたしません。

■ 剥離

- 本製品は再剥離性能を有しております。しかし、全ての下地に対し、有するものではありません。製品の使用期間・状況、使用インク・オーバーラミネートフィルム、剥離方法や剥離時の環境によって、剥離状況は変化します。再剥離性能とは粘着剤が下地に残りにくいように設計した性能です。
- 剥離性能を重視するアプリケーションの場合は、使用期間を想定した試験施工を一定期間*1 実施し、粘着剤の残留有無を確認し判断してください。
- 以下の下地からの再剥離性能は有しません。

下地種類

塩化ビニル板

ポリ塩化ビニルフィルム

接着向上表面処理アルミ板

石膏ボード等の基材破壊の生じる下地

劣化又は未乾燥硬化の塗装下地

- 剥離の際には可能な範囲でゆっくりと剥がしてください。すばやく剥がすと粘着剤が基材に残る場合があります。糊残りが発生する場合は温めながら剥離して下さい。
- 加熱しても剥離できない場合には剥離剤(弊社製 R221 等)を使用してください。
- 残留した粘着剤はその量に応じて、IPA (イソプロピルアルコール) もしくは剥離剤(弊社製 R231 等)をご使用ください。

■ 保管／運搬

- 鋭角に折り畳んだ場合、画像にダメージが発生することがあります。また、フィルム面を内側にして巻いた場合、ポップオフ(剥離紙からの浮き)が発生しやすいため、移送の場合には、直径 15 センチ程度のコアに画像を外側にして緩やかに巻いてください。
- 保存期間は 1 年間ですが、購入から半年以内のご使用をおすすめいたします。
- 以下の条件で保管してください。
 - 開梱しない状態、または初期の包装状態。
 - 乾燥した屋内で直射日光の当たらないところ。
 - 直射日光のあたらない、温度 38°C 以下、湿度 20~70%、の屋内で、結露を避けてください。ロールを積み重ねたり、部分的な圧力がかかったり、重量物を載せることは避けてください。
 - 使用後は速やかにプリンタから取り外し、元の袋に入れ、湿気が入らないようにして保管してください。

免責事項

- ここで用いている数値は平均的なものであり、保証値ではありませんので規格等の作成には使用できません。
- 廃材は産業廃棄物として処理してください。
- この説明書もしくは本件フィルムの使用・使用不能もしくは誤使用によって生じるあらゆる損失・損害に対し、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

この説明書の著作権は弊社に属します、よって、無断複製、引用等を禁じます。

その他不明な点につきましては、弊社担当販売員にお問い合わせください。

仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。

3M、スコッチカルは、3M 社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
コマーシャルグラフィックス事業部

Please Recycle. Printed in Japan